

6 幸教答申第 1 号
令和 7 年 1 月 2 0 日

幸田町教育委員会
教育長 池田 和博 様

幸田町教育委員会施策外部評価委員会
委員長 米津 直希



令和 6 年度幸田町教育委員会施策評価について（答申）

令和 6 年 1 月 2 8 日付け 6 幸教諮問第 1 号で諮問のありました特別支援教育事業始め 3 事業について、別紙のとおり評価しましたので、意見を付して答申します。

記

1 付帯意見

令和 6（2024）年 11 月 28 日に開催されました幸田町教育委員会施策外部評価委員会では、3 つの事業を対象に審議を行いました。審議にあたって、施策の実施状況について、担当課・担当者から事業内容をご報告いただきました。各委員からの質問には、たいへん丁寧にご説明をいただくことができました。審議の結果、各委員からは、いずれの事業も高く評価する旨の意見が出されました。具体的な評価内容については「教育委員会施策評価一覧」に記されていますが、ここでは、委員から出された意見のうち、町民の要望として特に重要と思われる点について、付帯して意見いたします。

「特別支援教育事業」については、主に特別支援教育、及び日本語教育の必要な児童生徒に対する支援について、充実した支援が行われていることを確認しました。特別支援教育についてはニーズの増加と多様化が見込まれるため、今後も研修等の充実を図りつつ進めていただきたいとのご意見がありました。こうした研修は、特別な支援を必要とする児童生徒のみならず、通常学級における指導にも生かされるものと思います。また日本語教育については引き続きご対応いただくとともに、ご報告にあった通り、県とも連携しつつ、広域的な対応により効率化を図ることができるのではないかとのご意見がありました。

「文化財保護事業」については、主に新博物館建設検討事業についてのご報告に対するご意見が中心となりました。昨今の学習指導要領等において重視されている探究学習において、ふるさと学習や郷土教育は重要かつ子どもの興味関心を引き付けるものです。また、子どもが地域の文化・歴史をどう学び、自身の生活と結びつけるかという観点も重要です。こうしたソフトの面からの充実についても取り組んでいただきたいというご意見がありました。

「町民会館管理運営事業」については、施設の老朽化に対する適切な対応、及び利用者のニーズに応じた柔軟かつ充実した事業について確認されました。さくらホールなどは音楽関係者にも高く評価されており、施設の長寿命化が望まれています。また駐車場の増設等は利用者目線に立った重要な改善点だとのご意見がありました。チケットの町民への優先に関する検討など、公平性・平等性の面で検討すべきことがあります。今後利用者目線に立った事業を実施していただきますようお願いいたします。

